

機能変更について

- 1 C.S (カスタムセレクト) キーに、スコープレベルを調節する“LEVEL”を追加しました。
- 2 CW のキーイングスピードが 45wpm 以上の時、QSK DELAY TIME (キーイング後に実際に電波が送信されるまでの時間) を 15msec に固定しました。
- 3 MOX による送信時、各モードの“MOD SOURCE”で設定した入力(“MIC”または“REAR”)から変調がかかるようにしました。

これらの変更に伴い、下記の動作およびセッティングメニューが変更になりました。

1 C.S (カスタムセレクト) の変更

[C.S] キーを押すだけで、MPVD リングがあらかじめ割り当てられた機能(下記参照)で動作します(初期設定は MEM CH)。

RF POWER	送信出力設定
MONI LEVEL	モニターレベル調節
DNR LEVEL	DNR レベル設定
NB LEVEL	ノイズブランカーレベル設定
VOX GAIN	VOX ゲイン設定
VOX DELAY	VOX ディレイ設定
ANTI VOX	アンチ VOX 設定
STEP DIAL	あらかじめ決められた周波数ステップでの周波数変更
MEM CH	メモリーチャンネル選択
GROUP	メモリーグループ選択
R.FIL	ルーフィングフィルターの帯域幅選択
LEVEL	スコープレベル (目的の信号とノイズを区別しやすくするためのレベル) の設定

機能の割り当てかた

1. [C.S] キーを長押しします。
機能選択画面が表示されます。



2. 割り当てたい機能にタッチします。

セッティングメニューでも機能を割り当てることができます。

【OPERATION SETTING】→【GENERAL】→【CS DIAL】

機能：[C.S] キーを押した時の MPVD リングの動作設定

選択できる項目：RF POWER / MONI LVL / DNR LVL / NB LVL / VOX GAIN / VOX DELAY / ANTI VOX / STEP DIAL / MEM CH / GROUP / R.FIL / LEVEL

工場設定値：MEM CH

解説：RF POWER：送信出力設定

MONI LVL：モニターレベル設定

DNR LVL：DNR レベル設定

NB LVL：ノイズブランカーレベル設定

VOX GAIN：VOX ゲイン設定

VOX DELAY：VOX ディレイ設定

ANTI VOX：アンチ VOX 設定

STEP DIAL：あらかじめ決められた周波数ステップでの周波数変更

MEM CH：メモリーチャンネル選択

GROUP：メモリーグループ選択

R.FIL：ルーフィングフィルターの帯域幅選択

LEVEL：スコープレベル設定

2 セッティングメニュー【QSK DELAY TIME】の変更

【CW SETTING】→【MODE CW】→【QSK DELAY TIME】

機能：CW 送出ディレイタイムの設定

選択できる項目：15 / 20 / 25 / 30 msec

工場設定値：15msec

解説：キーイング後に、実際に電波が送信されるまでの時間を設定できます。

注意：CW のキーイングスピードが“45wpm”以上の時は、ディレイタイムの設定にかかわらず“15msec”になります。

3 セッティングメニュー【SSB MOD SOURCE】の変更

【RADIO SETTING】→【MODE SSB】→【SSB MOD SOURCE】

機能：SSB モード時に [MOX] キーを押して送信する場合の音声入力端子の選択

選択できる項目：MIC / REAR

工場設定値：MIC

解説：MIC： パネル面の MIC 端子。

REAR： パネル面のマイク回路は切断し、背面の RTTY/DATA 端子または USB 端子。

セッティングメニュー【AM MOD SOURCE】の変更

【RADIO SETTING】→【MODE AM】→【AM MOD SOURCE】

機能：AM モード時に [MOX] キーを押して送信する場合の音声入力端子の選択

選択できる項目：MIC / REAR

工場設定値：MIC

解説：MIC： パネル面の MIC 端子。

REAR： パネル面のマイク回路は切断し、背面の RTTY/DATA 端子または USB 端子。

セッティングメニュー【FM MOD SOURCE】の変更

【RADIO SETTING】→【MODE FM】→【FM MOD SOURCE】

機能：FM モード時に [MOX] キーを押して送信する場合の音声入力端子の選択

選択できる項目：MIC / REAR

工場設定値：MIC

解説：MIC： パネル面の MIC 端子。

REAR： パネル面のマイク回路は切断し、背面の RTTY/DATA 端子または USB 端子。

セッティングメニュー【DATA MOD SOURCE】の変更

【RADIO SETTING】→【MODE PSK/DATA】→【DATA MOD SOURCE】

機能：DATA モード時に [MOX] キーを押して送信する場合のデータ変調入力端子の選択

選択できる項目：MIC / REAR

工場設定値：REAR

解説：MIC： パネル面の MIC 端子。

REAR： パネル面のマイク回路は切断し、背面の RTTY/DATA 端子または USB 端子。